

令和2年度（2020年度）
第3回 豊中市教育振興計画策定委員会 議事要旨

【開催概要】

日時 令和2年（2020年）11月11日（水）15:00～17:00
場所 教育センター6階 研修室（WEB会議形式）
出席委員 岩崎委員、中橋委員*、服部委員*、濱元委員*、開発委員、鈴木委員、浦委員、
廣嶋委員、藤本委員、行委員*、池田委員、小池委員、増森委員、濱田委員
(委員総数16名中14名が出席、*の委員は、オンライン参加)

事務局

傍聴 1人

資料 資料1 第2回豊中市教育振興計画策定委員会 意見集
資料2 第2期豊中市教育振興計画（素案）
資料3 次期振興計画の基本方向→施策→めざす姿
資料4 教育振興計画策定までの流れ
資料5 第4回豊中市教育振興計画策定委員会の日程について
資料6 第2回豊中市教育振興計画策定委員会 議事要旨
追加資料1 庁内会議等による追記
追加資料2 豊中市教育策定委員会 基本理念 意見集

■開会の挨拶

会長

（挨拶）

■成立要件の確認

事務局

豊中市教育振興計画策定委員会規則第6条第2項の規定により、委員の過半数の出席を必要としている。本日は委員総数16名中14名の委員の出席をいただいているため、成立要件を満たしている。

■資料の確認

（事務局による資料の確認）

■委員会の公開について

（事務局より豊中市情報公開条例に基づき本委員会を公開することを確認）

■前回の振り返りについて

会長

案件に入る前に簡単に前回の振り返りを行いたいと思う。事務局より説明をお願いしたい。

事務局

(事務局から資料 1「第 2 回豊中市教育振興計画策定委員会 意見集」、追加資料 1「庁内会議等による追記」に基づき説明)

会長

ただいま事務局から前回の振り返りについてご説明いただきましたが、ご質問等があればお願いしたい。

L 委員

質問事項 14 について、回答いただきありがとうございました。もう一度、確認させてもらいたいが、「個別最適化された学習」と「カリキュラム・マネジメント」は別々のものとの説明があったが、その認識でよろしいのでしょうか。「カリキュラム・マネジメント」の方は、学習指導要領を基に各学校や地域が教育目標をたてるものとの認識だが、それを個人別に落とし込んだものが ICT を活用した「個別最適化された学習」ではないかと私は理解している。

事務局（学校教育課）

「カリキュラム・マネジメント」と「個別最適化された学習」との関連がないとの意味合いで申し上げたのではなく、施策 4 の段落構成の中で、前段は教育課程全般について述べ、2 つ目の段落では、ICT について触れていたもので、先ほどの説明になった。「カリキュラム・マネジメント」と「ICT」が関連がないのかというご指摘については、もちろん、学校が取り組む中に、ICT の取組みがあるので、関連がないということではない。

L 委員

「カリキュラム・マネジメント」は学校の目標ということでよろしいですね。ICT による「個別最適化された学習」は、個人別に最適な学習目標を設けて、子どもに応じた教育を行っていくことでよろしいでしょうか。

事務局（学校教育課）

「カリキュラム・マネジメント」が学校の教育目標に合わせた展開をしていくことに間違いはございません。

事務局（教育センター）

児童生徒一人ひとりに応じた学習を進めていくためのひとつのツールとして、今回タブレットが導入される。ICT を活用したという記載の部分は、タブレットや大型モニターなどの ICT 機器を効果的に活用していくという意味である。一人ひとりの能力や特性に応じた教育をしていくためのひとつとして、ICT の活用があると考えている。

■案件 審議について

会長

それでは、審議に入りたいと思う。第2期豊中市教育振興計画（素案）、追加資料について、事務局から説明をお願いしたい。

事務局

（事務局から資料2「第2期豊中市教育振興計画（素案）」、資料3「次期振興計画の基本方向→施策→めざす姿」、追加資料2「基本理念 意見集」に基づき説明）

会長

ただ今事務局から説明いただいたことを踏まえて、ご意見をお願いしたい。

M委員

「基本方向1 保育や幼児教育の充実を進めます」のめざす姿について、「待機児童ゼロが維持されている」という量のみしか見ていないといった表記じゃない方が良いと思う。保護者や子どもたちにとって、安心して自分の生活スタイルに合わせた保育の場が確保されていることが大事だと思う。「待機児童ゼロ」ももちろんそのひとつだが、働きながら必要とする保護者のみに対応するのではなく、就学前施設と連携しながら、保護者がともに保育をしたい親にとっても、場が確保されていることが、量より大事であり、その次に質を大事にするということにつなげていっていただければと思う。

施策3の文中に、「幼保小連絡協議会や認定こども園等」と記述があるが、幼保小連絡協議会の中に認定こども園は入っていると思うので、認定こども園を外に出して取り上げる必要はないと思う。

会長

「めざす姿」について、他にご意見ございませうか。

M委員のご指摘の部分は私も気になっていて、ここだけ評価指標のようになっている。点検評価のことも気になるが、そちらもきちんと考えていただいているのであれば、「めざす姿」の方はある程度柔らかい表現でも良いと思う。

L委員

「めざす姿」は会長がおっしゃったように、ある程度ざっくりした姿しか出せないものだと思う。この後、個別具体的な計画に落とし込んでいかれると思うが、その時には年度別に評価できるような数値目標は出てくるのでしょうか。

事務局（教育総務課）

素案の最終頁に「6 施策の推進」があります。この会議で策定させていただいているのが、「教育振興計画」です。それを受けて、毎年度「教育行政方針」を策定する。その内容を受けて事業を実施し、そして毎年度点検評価を行うことになる。ベースとなる8年間の「教育振興計画」に対して、実施計画としては、毎年度策定して、毎年度点検評価をしていく流れになる。

会長

教育振興計画の改訂時に、点検評価のことも視野にいたした施策の検討をすることを、以前から話もしていたが、コロナのこともあり、教育委員会としても思ったとおりにならなかった部分があると思う。

F 委員

「基本方向2 子どもたちの学びを高める環境づくり」のめざす姿で、「学校における働き方が見直され」という表現があり、施策9で学校における働き方改革の推進がある。内容自身は間違っていないと思うが、現場感覚とはかけ離れているように思う。学校における働き方が何か間違っていて、それを見直すといった様な印象を受け、違和感がある。施策9では、「教職員の勤務時間管理の徹底」との記載もあるが、それで働き方が見直されゆとりが出るというわけではないと思う。

現場の声としては、今でも忙し過ぎるので、1クラスの人数を減らして欲しいということと授業の持ち時間を減らして欲しいということが多くあがっている。また、欠員が多く出ており、しわ寄せの忙しさもある。こういった状況のなかで、この文章を教職員が読んだ時に、現場感覚とのズレを感じてしまうと思う。学校がゆとりのある体制を進めていくために、何か施策ができないかと思う。豊中市は35人学級をめざし段階的に進めているが、世界の標準は28人と言われている。コロナ禍で定数を見直すということも話し合われているので、総合的に豊中市としての考えがどこか入れればいいなと思っている。

会長

働き方を改めるといって今が悪い印象があるので、「適正な働き方ができるような体制づくり（条件整備）を進める」といった表現が入ると良いのではないかと。事務局の方でそのあたりの工夫はしていただけでしょうか。

事務局（教育総務課）

最終的に「教職員のゆとりをもって児童生徒と向き合う時間があること」がめざすべき姿と考えている。あくまでその部分が一番重要だと考えている。8年後のめざす姿なので、現状はまだ至っていないということだが、それを達成する取組みとして施策をあげさせていただいている。単年度ごとの計画の部分に出来るところから書き込んで対応していきたいと思う。

会長

「働き方が適正化され」など、先生たちのモチベーションがあがるような表現の工夫をしていただければと思う。

事務局（教育総務課）

承知しました。

L 委員

「働き方」に関してだが、勤務時間管理の徹底をしたら、働き方改革が出来るようなものではないということは共感した。もう少し柔らかい文章にした方が良いのではないかと。事務局がおっしゃったように、授業に対する余裕時間をつくること、子どもと向き合う時間をつくることに尽きるのではないかと。データ管理はあくまでエビデンスとのトーンで文章を書かれると良いと思う。

会長

先生方では動けないところを、教育委員会を中心にカバーしていくことが伝わるように書いていただければと思う。

事務局（教育総務課）

再度文章は検討させていただく。

D 委員

「めざす姿」とは離れるが、前回欠席したので素案について感じたことを発言させていただく。ICTは不可欠ではあるが、逆にそんな時代だからこそ、対面指導や多様な体験活動などこれまでの実践とICTとの最適な組み合わせを実現していくことが大切になるのではないかと思う。ひとり1台タブレットが今年度中に完了することなので、遠隔教育を含むICTを活用した学びのあり方について、特筆する必要があると、これを読んで感じた。

施策4に関して、「カリキュラム・マネジメントの確立」とあるが、今頃確立なのかと感じた。既に各学校で行っていることなので、「充実に向けた取組みを推進する」といった表現の方が良いと感じた。

「キャリア教育」については、「施策6 小中一貫教育の推進」の部分に少し触れられているだけのように思うので、全体的にもう少し触れられていても良いのではないかと感じる。

施策8に関して、「ICTを活用した不登校支援」や、「自宅等でのICTの活用と多様な教育機会の確保など学校内外における支援を進める」といった文章があっても良いと思う。

「アウトリーチ支援」は、「アウトリーチ型支援」と表現されているものも見る。

施策9に関して、先ほどから議論がされているが、方向性を示されている文章が少ないので、例えば「教師でなければできない業務に全力投球ができ、子どもたちに対して効率的・効果的な教育活動を行うことができる教育環境をつくる」といった内容が入らないだろうか。

施策15に関して、今の学校評議委員会と変わらないと思う。コミュニティ・スクールの導入では体制づくりが大切だと思うので、「保護者や地域住民等の学校運営への参加・参画を得ながら学校運営を行う体制の構築を図る」といった様な踏み込んだ内容が必要ではないか。

最後に、先月国の方で、「令和の日本型学校教育」の構築を目指しての中間まとめが出されたが、今回の素案には活かされているのでしょうか。

会長

ご意見が多かったので、事務局の方で回答できるのであればお願いします。

事務局（教育総務課）

多岐に渡るご意見だったので、ご意見を整理させていただいて各担当で検討させていただく。

会長

中間まとめの件は、中間の段階でどこまで反映させていいのかはなかなか難しいと思う。

A 委員

「基本方向3 子ども・若者がそれぞれの力を活かし、社会に関わっていくことができるよう支援し

ます」のめざす姿で、「困難を抱えた子どもや若者への支援は地域、関係団体、関係機関等が連携し」とあるが、地域、関係団体、関係機関ではよく内容がわからない。行政や児童相談所などは、この中では関係機関に入るだろうし、関係団体名を具体的に表記するなど、もう少し表現の充実をお願いしたい。

C 委員

教員の確保について、学校の現状として、欠員が生じた場合に補充していただけない困った状況にある。ひとり欠員が出ただけでも子どもたちへのしわ寄せがいく。いろんな工夫も書いていただいているが、教員の確保は今後もいろんな方法で取り組んでいていただきたいと思う。

働き方にもつながるが、教員がなかなか大変な仕事かなというイメージがついており、子どもたちに寄り添う、すごく大事な仕事だというイメージが弱くなっている。豊かな夢を子どもたちに与えるいい仕事だということをアピールするとともに、若手の教員の確保、人材確保についてそういった部分も書いていただければと思う。

「基本理念を具現化するための大きな仕組み（イメージ図）」があるが、基本理念に向けて一方向の矢印が描かれているのが気になる。「学校園」「家庭」「地域」と「市・教育委員会・関係機関」とが双方向に連携・協働して進んでいくものではないかと思う。

会長

教員の確保は重要な課題と思うので、欠員が出ているというのは、予算の問題なのか人がいないのかどちらでしょうか。

事務局（教育総務課）

現実問題として、教師登録者が少ないため欠員の補充が滞っている状況がある。

会長

何か良い策を考えないといけないということですね。

イメージ図については、うまく修正していただきたいと思う。

事務局（教育総務課）

図については、事務局でイメージが伝わるように作り直したいと思う。

会長

続いて、「基本理念」について、ご意見をいただければと思う。

L 委員

副題として、南部先生のメッセージを載せているが、本人の写真や経歴は不要ではないかと思う。また、誰かの言葉をいれるのであれば、豊中市で教育に関して、学童保育や子ども食堂などで長年尽力された方が現場の意見をもって心から出た言葉の方がふさわしいと思う。誰かの言葉を入れることは、いらないと思う。

教育の理念としては、主題の語尾の「まち とよなか」というフレーズはいらないのではないかな。そし

て、出来るだけ考え方がシンプルに伝わるフレーズが良いと思う。

K 委員

この基本理念は、非常に気に入った。ただ、基本方向との関連がついている必要があると思う。未来を担う子どもたちにしっかり育ててもらうことが大切なので、主題で「豊かな夢を子どもたちに」と最初に出しているのは良いと思うが、「生涯学習」の意味合いがどこで読み取れるのか気になった。「ともに描く学びと創造」の部分で、何か関連づけられているのか説明があれば有難い。

会長

私も気になっていた部分ではあるが、副題の部分はみんなで生きようといった解釈で、必ずしも子どもだけに限定していないというように読めなくもないかとは思っている。子どもたちが中心の計画にはなと思うが、「生涯学習」のニュアンスも説明できるようにしておければというのは、ご指摘のとおりだと思う。

事務局（教育総務課）

今回、基本理念をつくるにあたって、子どもだけでなく生涯学習の含めてといった部分は、計画全体を策定するにあたって気にかけていたところである。主題の「創造のまち」といった部分で、広く市民全体をイメージしてもらえないかと意図する部分と、副題は年齢関係なく、幅広くすべての方へのメッセージとの受け止め方をしたいと考えている。

C 委員

副題は、南部先生の真意が理解できていないと難しいのではないかと思う。「ほがらかに生きよう」はどんなイメージをもって大人になってもらおうと思っていたのか。南部先生の意図がわかればみんなに伝わると思うが、「ほがらかに生きよう」ということが難しいことだと思う。苦しい思いをして学校に来ている子どもたちもいる。障がいを抱えながら勉強している子どもたちもいる。いろんな子どもたちがいる中で、簡単に「ほがらかに生きよう」と言っているのかなと感じる。教育課題がいっぱいある中で、「ほがらかに生きる」ために、どんな教育をすれば良いのか、どんな施策をすれば良いのか考えてしまうと、「ほがらか」という言葉がすごく難しいものであると思った。

会長

考えさせられるご意見です。ありがとうございます。

L 委員

C 委員は、大切なことをおっしゃったのではないかと思う。簡単に「ほがらか」という言葉を使わない方が良いのではないかと思う。南部先生が水面下で苦労され、ノーベル賞を取られた結果の「ほがらか」なので、真意がわからないと使うべきではないと思う。教育現場の方々が、一致団結できるものにしたら良いと思う。

K 委員

副題は、南部先生がどこかの本に書いてある文章を探してきて取ったわけではなく、本市の若者や子どもたちに贈っていただいたメッセージということなので、尊重して良いのではないかと思う。経歴は

私もいないと思う。注釈で、どんな時に贈られたメッセージか説明がある程度で良いのではないかな。私は、問題がないと思う。

J 委員

副題の「大きな夢を抱いて ほがらかに生きる」ことは今の時代難しくなっているが、敢えて健やかさやほがらかさといった、大人たちや子どもたちが忘れていたものを入れていっていただくと、それに向かってどうしていくかということに次に考えていけるのではないかなと思う。

L 委員

良い言葉だとは思うが、計画の中に誰かの言葉を入れるのは控えた方が良く思う。

会長

今までのご意見を聞いていて、少なくとも南部先生を前面に押し出すのは控えておいた方が良くないかなという感じかなと思う。

G 委員

主題の「ともに」というフレーズは教職員にとって大事だと思う。教職員は、子どもたちが互いに認め合いながら、つながりをどう作りあげることについて一番視点を置くと思う。「ともに」を一步踏み込んで、副題に「つながり」という表現も含まれると、より何を目指しているのかがはっきりするよように感じた。

C 委員

ともに各世代の人たちが、豊中市のまちを舞台にして助けあいながら生きていくためには、子どもたちが描く夢も大事だし、大人も夢見て良いのではないかなと思う。すべての人が大きな夢をもっていいが、それを実現するためには努力がいるだろうと思う。夢をたとえあきらめても、豊中市の中で楽しく生活したい、勉強したことが自分に生きて、生涯を通じて学びたいと思えるような基本理念であってほしい。ともにみんなが生きてほしい。一番大事にしたい部分、「人権のまち豊中」、いろんな人が助け合いながら生活をしていく楽しいまちだということに前面に出した方が良く思う。

E 委員

主題の「豊かな夢を」という言葉はすごく気に入っている。これに向かって、いろんな施策を教職員や地域の方、豊中のすべての方と一緒に協力しながら子どもたちの教育にあたっていこうという思いは、自分の中にある。下の説明部分に、市としての思いがあって理念を掲げているといったことが少し書かれていると良いのではないかな。少し一般論的な書き方になっているように思う。理念を掲げた豊中市の思いが補足され、説明されていけば、基本理念が共有されやすいのではないかなと思う。

A 委員

これだけ多様な意見が出て、賛否両論あるので、この場で決めるのは難しいと思う。キャッチフレーズなので、コピーライティング的なセンスもいると思う。もう一度、意見を踏まえて検討していただいた方が良くないかなと思う。

会長

スケジュール的に大丈夫でしょうか。

事務局（教育総務課）

パブリックコメントに出すまでには固めたいと思っている。全体が集まって議論いただくのは、パブコメまでには難しい状況と考えている。可能であれば、書面でご意見を伺うことになる。

会長

まず期限を切って委員でご意見のある方は、事務局に意見を出してもらいます。それを踏まえて、事務局で検討してください。場合によっては、少人数で時間をとって検討し、ご了解いただくこととし、そこで難しい場合は、あまり望ましくないが、会長預かりにできないかと考えるがいかがでしょうか。

事務局（教育総務課）

事務局はそれで問題ございません。

会長

「めざす姿」については、本日のご意見を踏まえて検討いただければと思う。「基本理念」については、今申し上げたような形で進めさせていただこうと思う。

事務局（教育総務課）

「基本理念」のご意見の期日は、11月18日までとしたいと思います。よろしくお願いします。

会長

案件審議を終了したいと思います。何か他にございますか。

事務局

（事務局から資料4「教育振興計画策定までの流れ」、資料5「第4回豊中市教育振興計画策定委員会の日程について」に基づき説明）

会長

本日予定していた案件は以上ですべて終了した。これをもって、第3回豊中市教育振興計画策定委員会を閉会する。

■閉会